

1. 次世代層へのエネルギー・環境教育の展開

「九電みらいの学校」※の一環として、エネルギー・環境への関心を育む活動を、九州各地で展開しています。

※:エネルギー・環境教育をはじめ、文化・芸術・スポーツの分野において、様々な活動を行う次世代層支援プロジェクト。

WEB 詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報 (P2参照) > 九電みらいの学校

エコ・マザー活動

子どもたちへの環境教育支援とご家庭における環境教育の担い手である保護者の皆さまへの環境情報提供を目的として、「エコ・マザー活動」を展開しています。

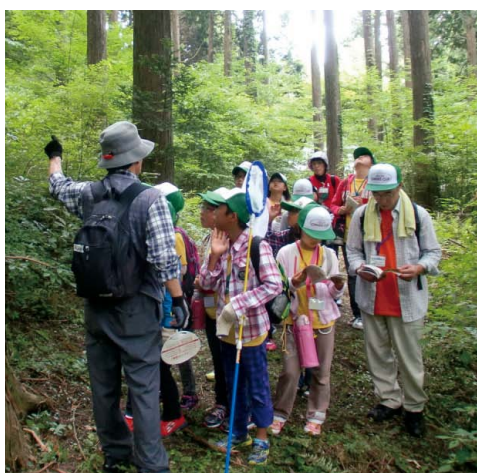
この活動は、九州各地で、地域のお母さま方が「エコ・マザー」として保育園などを訪問し、環境問題への「気づき」となる環境紙芝居の読み聞かせなどを行うことを通じ、小さなお子さまに環境に配慮することの大切さを伝える活動です。

2003年度から開始したこの活動は、2014年度までに2,800回以上実施し、およそ20万名のお子さまや保護者の皆さまにご参加いただきました。

環境教育支援活動

学校教育や市民活動における環境教育支援の一環として、「山下池周辺の社有林」(大分県由布市)などにおいて、当社が持つ豊かな自然環境を活用した環境教育支援活動を市民団体の皆さまと協力しながら展開しており、2002年度からこれまで、およそ100団体、3,600名以上を受け入れました。

WEB 詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報 (P2参照) > 環境教育支援活動



山下池周辺の社有林での自然観察会の様子



エコ・マザー活動の様子

WEB 詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報 (P2参照) > エコ・マザー活動

出前授業

エネルギー・環境問題などについて、楽しみながら学んでもらう事を目的に、九州各地で出前授業を実施しています。2014年度は、小・中学校等で366回の出前授業を実施し、約15,000名の子どもたちとエネルギーや環境について考えました。

>>私の環境アクション

「電気の大切さ」と「省エネの必要性」を一生懸命伝えていきます

鹿児島支社企画・総務部 広報グループ

ふくしまさだみ
福島貞巳



鹿児島支社エリアでは、2014年度、県内58か所の小・中学校の児童・生徒を対象に「エネルギー出前授業」を実施しました。

学習指導要領を踏まえて、「電気をつくるしくみ」、「地球環境問題とエネルギー」、「省エネ」をテーマに、さまざまな教材や実験道具を使った体験型の授業を行い、電気の大切さや省エネの必要性を伝えていきます。

授業では、積極的に発表し、目を輝かせながら話を聞き、たくさんの笑顔で実験する子ども達から、毎回、元気と力をもっています。

今後も、分かりやすい授業になるよう創意工夫し、エネルギーに興味や関心をもってもらえるよう努めていきたいと思っています。



自転車発電機を使った授業の様子

用語集をご覧ください

>>エネルギー・環境教育
>>社有林

>>地球環境問題